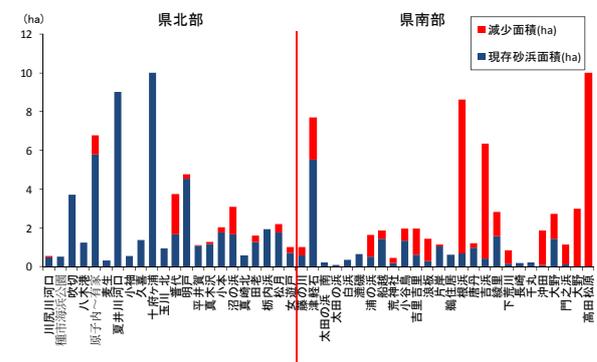


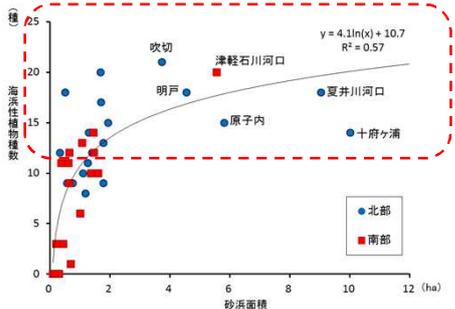
岩手県の震災による 海浜の変化と植生の 現状・保護活動

岩手県立大学 総合政策学部 島田 直明

①震災による海岸砂浜の変化



②残存する砂浜の海浜性植物 砂浜面積と海浜性植物の種類数の関係

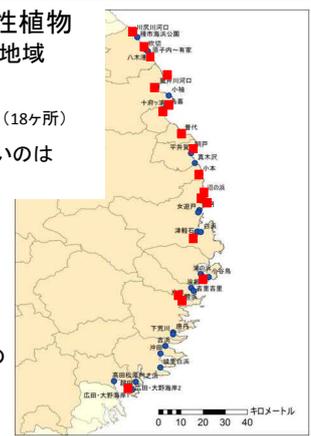


- 砂浜面積が少ないと出現する海浜性種の種数が少ない
- 砂浜面積が少なくても種類数が多いところもある

②残存する砂浜の海浜性植物

■ 植生から見て保全すべき地域

- 海浜性植物が豊かな場所
= 植生から見て保全すべき地域 (18ヶ所)
 - 復旧工事でまったく影響がないのは
県北中心に7箇所のみ
 - 保全すべき場所
岩手県北に集中
- 県南では、津軽石・船越・片岸・鶴住居・大野の5ヶ所
→ 海浜の“普通の種”が、県南の海岸からなくなる可能性も
→ 県南は特に保全が必要



■ 海浜植生の現状と保全活動

十府ヶ浦米田地区(野田)の保全対策

国道45号と一体となった防潮堤を2mかさ上げ
↓
前面にある海浜植生群落は工事用地(掘削)・工事用道路に。ほぼ消失
↓
工事終了後、砂浜の形状は現在の形状に復旧

県北広域振興局と県立大が保全策を検討

Google earth

■ 海浜植生の現状と保全活動

十府ヶ浦米田地区(野田)の保全対策

- 1) 現地保全
- 2) 根茎や種子を含んだ表土の移動(=移植)
→ 工事中は仮移植し、養生する
→ 工事終了後、現地に表土を戻す(移植)
- 3) 種子による苗づくり
→ 工事終了後植栽
→ 住民・市民参加も調整中
- 4) 根茎の系外移植
→ 大学などで畑に移植
→ 工事終了後植栽
- 5) 種子の保存
→ 工事終了後撒きだし



■海浜植生の現状と保全活動
 十府ヶ浦米田地区(野田)の保全対策

1) 現地保全

■海浜植生の現状と保全活動
 十府ヶ浦米田地区(野田)の保全対策

2) 根茎や種子を含んだ表土の移動(=移植)
 → 2015年4月に終了(=仮移植)
 → 工事終了後(2016年度末予定)、現地に表土を戻す(移植)

▲2015年5月
 ▲2015年7月
 ▼2015年9月

■海浜植生の現状と保全活動
 十府ヶ浦米田地区(野田)の保全対策

3) 種子による苗づくり〔2)の補完〕
 → 工事終了後植栽
 → 盛岡農業高校の高校生も参加
 → 住民参加も調整中

■海浜植生の現状と保全活動
 十府ヶ浦米田地区(野田)の保全対策

4) 根茎の系外移植〔2)の補完〕
 → 大学などで畑に移植
 → 工事終了後植栽

5) 種子の保存〔2)の補完〕
 → 工事終了後撒きだし

移植や苗の生産のことなどは、FBページで逐次更新していく予定です。
 『岩手県立大学 島田ゼミ 十府ヶ浦・海浜植物のお引越しレポート』

■海浜植生の現状と保全活動
 船越(山田)の保全対策

・防潮堤8.4m→12.8mにかさ上げ
 ・分布南限にあたる植物が波打ち際に近いところに存在 → その場所は保全
 ・しかし多くの海浜性植物は消失 → 表土の移植が必要

●十府ヶ浦同様の試みを行う。今年度から近くの船越小学校と苗づくりなど協働する(小学生参加型)。

▲船越小学校グラウンド
 ▲盛岡

■海浜植生の現状と保全活動 船越(山田)の保全対策

今年から地元の船越小学校の4年生に授業の一環で、苗づくりをしてもらっている。